

## ディスコグラフィー収載

### ディスコグラフィー 【2024No.199】 (HP 収載)

分類：アナログ

作曲家：ベートーヴェン

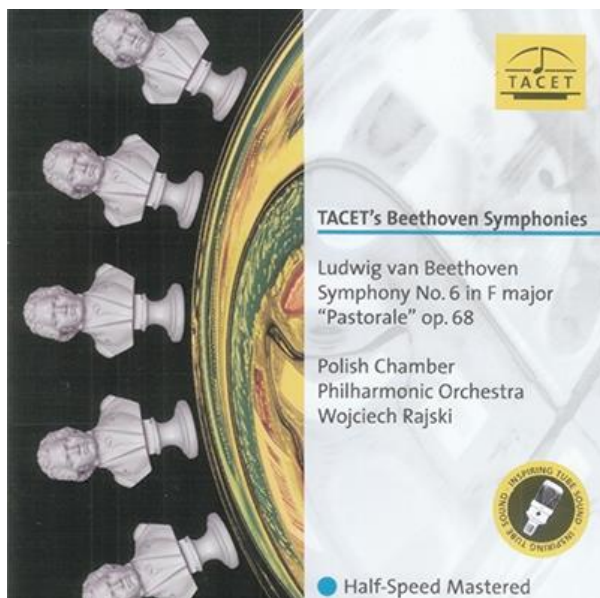
曲名：交響曲 6 番

演奏：Wojciech Rajski(ヴォイチェフ・ライスキ)指揮ポーランド室内フィルハーモニー  
管弦楽団:

発売：TACET

No. : TACET 241

概要：



#### 【演奏】

Wojciech Rajski(ヴォイチェフ・ライスキ)指揮ポーランド室内フィルハーモニー管弦楽団:

#### 【収録】 Symphony No. 6 in F major "Pastorale" op. 68

##### Side1

1. Angenehme und heitere Empfindungen, welche bei der Ankunft auf dem Lande im Menschen erwachen. Allegro ma non troppo
2. Szene am Bach. Andante molto moto

##### Side2

3. Lustiges Zusammensein der Landleute. Allegro
4. Donner. Sturm. Allegro

## 5. Hirtengesang. Wohltätige, mit Dank an die Gottheit verbundene Gefühle nach dem Sturm. Allegretto

大阪ハイエンドオーディオショウ 2024 に行って求めてきたものです。

感動的なチューブサウンド、ハーフスピードマスターリングとの記載があり、チューブサウンドは真空管マイクのノイマン U47 が使用されていること、ハーフスピードマスターリングは、マスターリングがハーフスピードで行われていることを指しています。

2008 年ポーランドの教会での録音、フランクフルトでのカットティングで、2017 年発売です。

今回は、LP-12 のフォノケーブルのバランス化とレコードアンチスタティックの適用に加えて、Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用してみます。

TACET レーベルは、ZANDEN のリストにありませんが、最近の録音ですので、RIAA、N、第 4 時定数 High の条件から聴き始めましたところ、違和感はありません。

音質は、ハーフスピードマスターリングの効果で、解像度もよくクリアーな音質です。恐らくはデジタル録音でしょうが、真空管マイクのため、そういった印象はありません。演奏は、緻密な構成で、音の協和と分離もよく、田園の長閑な風景から嵐の描写まで、手に取るようにその時々的情景が分かりやすい演奏です。

以上